

知って備える 防災メモ

第52回



携帯電話はあなたを守る 『命綱』

毎年、山菜採りに出掛けた方が遭難する事故が後を絶ちません。たとえ毎年入っている場所であっても油断は禁物です。山菜採りをするときは、次のことを必ず守りましょう。

●**山菜採りへ行くときは**
 ・入山場所の地形をよく確認する
 ・気象情報を確認し、悪天候の場合は中止する
 ・行き先と帰る時間を家族に伝える
 ・単独での入山を避け、声を掛け合い、位置を確認する
 ・通信手段となる携帯電話、非常食や防寒着を必ず携帯する
 ・白や黄色などの目立つ色の服を着用する



過去3年間の遭難事故発生件数

平成26年度	2件
平成27年度	4件
平成28年度	3件

ポイント

GPS機能を備えた携帯電話であれば、遭難してしまった場合でも、所持しているだけで、自分の大まかな位置を伝えることができます。ただし、電源が入っている必要があるため、予備の電池などによる電源の確保も重要です。

▼問い合わせ

総務グループ (☎**01130**)

- 遭難した場合**
 ・落ち着いて行動し、携帯電話などを使って自分の位置を知らせる
 ・むやみに歩き回るとは体力の消耗となるので、捜索隊を待つ
- 熊の出没に注意**
 ・熊よけの鈴やラジオを携帯し、音をたてる工夫をする
 ・熊の出没情報に注意し、足跡やふんを見たときはすぐに引き返す
- ☆**家族の方へ**
 警察などへの通報が遅れると、捜索が難航する場合があります。予定の時間までに戻らないときは、警察へ通報しましょう。

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

和装小鈴会

『和装小鈴会』は、昭和58年に発足しました。現在、会員は50代から70代までの女性11人。毎週木曜日の9時から16時まで、鉄南ふれあいセンターで活動しています。

「昔の生地は絹でできているので、丈夫でしっかりしているため、着なくなって大切にしまっている着物があれば、その布を使って新しい作品を作ることができます。長い間、たんすの中で眠っていた着物を新しい服や小物に作り変えることで、生地が生まれ変わったように感じますよ」と和裁の魅力を語る代表の小原勝子さん。



和裁の技術を磨いて、自分だけの新しい作品を作ってみませんか

毎週集まるたびに、自分たちが作った作品を着て披露することです。みんなが身に付けているものを見て、良いものは真似をするようにしています。みんなが良い先生です」と笑顔で話してくれました。

同会では、着る物のほかにも、袋物やアクセサリーなどの小物も作っており、互いにアイデアを持ち寄りながら、制作に励んでいます。体験や見学を希望する方は、小原さん (☎**07665**) まで。



▲針と糸で生地を縫い付け、新しい作品を制作するメンバー